令和７年度大阪府・大阪市・堺市・豊能地区公立学校教員採用選考テスト

養 護 教 諭

解答についての注意点

１　解答用紙は、マーク式解答用紙と記述式解答用紙の２種類があります。

２　大問 1 ～大問 4 については、マーク式解答用紙に、大問 5 については、記述式解答用紙に記入してください。

３　解答用紙が配付されたら、まずマーク式解答用紙に受験番号等を記入し、受験番号に対応する数字を、鉛筆で黒くぬりつぶしてください。
記述式解答用紙は、全ての用紙の上部に受験番号のみを記入してください。

４　大問 1 ～大問 4 の解答は、選択肢のうちから、**問題で指示された解答番号**の欄にある数字のうち一つを黒くぬりつぶしてください。
例えば、「解答番号は [1] 」と表示のある問題に対して、「**3**」と解答する場合は、解答番号 1 の欄に並んでいる ① ② ③ ④ ⑤ の中の ③ を黒くぬりつぶしてください。

５　間違ってぬりつぶしたときは、消しゴムできれいに消してください。二つ以上ぬりつぶされている場合は、その解答は無効となります。

６　その他、係員が注意したことをよく守ってください。

指示があるまで中をあけてはいけません。

Ⅰ　各種法令、健康診断及び支援や配慮を要する児童生徒等への対応について、次の（１）～（６）の問いに答えよ。

（１）次は、学校保健安全法（平成28年４月１日施行）の条文である。空欄Ａ～Ｅに当てはまる語句の正しい組合せはどれか。**１**～**５**から一つ選べ。解答番号は［　１　］

第一条　この法律は、学校における児童生徒等及び職員の健康の保持増進を図るため、学校における［　Ａ　］に関し必要な事項を定めるとともに、学校における教育活動が安全な環境において実施され、児童生徒等の安全の確保が図られるよう、学校における［　Ｂ　］に関し必要な事項を定め、もつて［　Ｃ　］の円滑な実施とその成果の確保に資することを目的とする。

第十三条　学校においては、毎学年定期に、児童生徒等（［　Ｄ　］による教育を受ける学生を除く。）の健康診断を行わなければならない。

２　学校においては、必要があるときは、臨時に、児童生徒等の健康診断を行うものとする。

第十四条　学校においては、前条の健康診断の結果に基づき、疾病の予防処置を行い、又は治療を指示し、並びに運動及び作業を［　Ｅ　］する等適切な措置をとらなければならない。

	Ａ	Ｂ	Ｃ	Ｄ	Ｅ
１	保健管理	安全管理	学校教育	通信	軽減
２	安全管理	保健管理	教育活動	通信	中止
３	保健管理	安全管理	教育活動	定時制及び通信	軽減
４	安全管理	保健管理	学校教育	通信	中止
５	安全管理	保健管理	学校教育	定時制及び通信	軽減

（２）次は、学校保健安全法施行規則（令和５年５月８日施行）第22条、第23条及び第24条に示されている学校医、学校歯科医、学校薬剤師の職務執行の準則である。空欄Ａ～Ｄに当てはまる語句の正しい組合せはどれか。１～５から一つ選べ。解答番号は［ 2 ］

第二十二条　学校医の職務執行の準則は、次の各号に掲げるとおりとする。

二　学校の環境衛生の維持及び改善に関し、［ A ］と協力して、必要な指導及び助言を行うこと。

八　［ B ］の求めにより、救急処置に従事すること。

第二十三条　学校歯科医の職務執行の準則は、次の各号に掲げるとおりとする。

２　学校歯科医は、前項の職務に従事したときは、その状況の概要を学校歯科医執務記録簿に記入して［ C ］に提出するものとする。

第二十四条　学校薬剤師の職務執行の準則は、次の各号に掲げるとおりとする。

六　学校において使用する医薬品、毒物、劇物並びに［ D ］に必要な用具及び材料の管理に関し必要な指導及び助言を行い、及びこれらのものについて必要に応じ試験、検査又は鑑定を行うこと。

	A	B	C	D
1	学校薬剤師	教育委員会	養護教諭	安全管理
2	養護教諭	教育委員会	養護教諭	安全管理
3	養護教諭	校長	校長	保健管理
4	学校薬剤師	校長	養護教諭	安全管理
5	学校薬剤師	校長	校長	保健管理

（3）公益財団法人日本学校保健会冊子「児童生徒等の健康診断マニュアル　平成27年度改訂」（平成27年８月）に示されている健康診断について、次のア、イの問いに答えよ。

ア　次は、健康診断時に注意すべき疾病及び異常のうち産婦人科関連について示したものである。空欄Ａ～Ｄに当てはまる語句の正しい組合せはどれか。**1**～**5**から一つ選べ。解答番号は［ 3 ］

○体格・食生活

陰毛は［ A ］歳以上で全く「なし」、乳房のふくらみは７歳未満で「ある」、または［ B ］歳以上で「なし」では、早発・遅発思春期として内分泌疾患が潜在する可能性がある。

○初経の時期

初経は［ C ］歳の間に発来するのが正常である。18歳になっても初経が発来しない原発無月経では、染色体異常や子宮奇形等が原因であることが多い。

○月経周期及び月経量

初経から数年間は排卵がまだ確立されていないため、思春期女子の月経周期が初経時から規則的であることの方が少ない。しかし、［ D ］か月以上月経がこない場合は続発性無月経として専門医への受診を勧める。ダイエットやストレス、クラブ活動等による過激な運動等が続発性無月経の原因と考えられており、放置によって月経の自然再開が困難となり、骨量減少による疲労骨折のリスクが高まる。また、月経持続が長い場合（１週間以上）や月経量が多いと出血多量によって貧血になりやすく、貧血の治療も要する。

	A	B	C	D
1	13	11	10～14	2
2	13	11	10～14	3
3	11	13	8～12	2
4	13	13	10～14	2
5	11	11	8～12	3

イ　次は、色覚の検査について示したものである。空欄Ａ～Ｅに当てはまる語句の正しい組合せはどれか。１～５から一つ選べ。解答番号は［　4　］

準　備

検査室：検査者や被検査者の姿や声がほかの児童生徒等に見えたり、聞こえたりしない場所を選ぶ。

照　明：十分な明るさがある自然光の下で行う。ただし、直射日光は避け、［　A　］の窓からの採光で、午前［　B　］時から午後３時の間が最もよいとされている。

検査表：［　C　］に認められている色覚検査表（以下検査表）を使用する。

検査台：読書で普通の姿勢がとれる机（教室の学習用の机でよい）。

方　法

使用する検査表の使用方法を遵守すること。

・検査は［　D　］の同意を得て実施する。

・検査表を机上に置く。この際、検査表が光源の光を照り返さないように注意する。

・眼鏡等の所有者には装用させて検査する。

・答えた内容について訂正したり、念を押したりしてはいけない。また、検査者の態度で答えの正否が被検査者に知られないように配慮する。

・検査室には一人ずつ入れ、前の被検査者の検査が済んでから次の児童生徒等を入れる。

判　定

使用する検査表の判定法を遵守すること。学校での色覚の検査はスクリーニングであり、診断せず「色覚異常の疑い」とする。例えば、広く一般で使われている石原色覚検査表Ⅱコンサイス版（14表）では第１表から第８表及び第14表から第11表の計12表のうち誤読が［　E　］表以上であれば「色覚異常の疑い」とする。

	A	B	C	D	E
1	南側	9	科学的	本人	4
2	南側	9	医学的	本人・保護者	4
3	南側	10	科学的	本人・保護者	2
4	北側	10	医学的	本人・保護者	2
5	北側	10	医学的	本人	4

（4）次は、文部科学省冊子「生徒指導提要（改訂版）」（令和４年12月）の第３章チーム学校による生徒指導体制　３.３教育相談体制の一部抜粋である。正しいものを○、誤っているものを×とした場合、正しい組合せはどれか。１～５から一つ選べ。解答番号は［ 5 ］

A　教育相談は集団や社会の一員として求められる資質や能力を身に付けるように働きかけるという発想が強く、生徒指導は個人の資質や能力の伸長を援助するという発想が強い傾向がある。

B　「課題予防的教育相談」は大きく二つに分類できる。第一は、全ての児童生徒を対象とした、ある特定の問題や課題の未然防止を目的に行われる教育相談である。第二は、ある問題や課題の兆候が見られる特定の児童生徒を対象として行われる教育相談である。

C　「困難課題対応的教育相談」とは、様々な資質や能力の積極的な獲得を支援する教育相談活動である。個々の児童生徒の成長・発達の基盤をつくるものと言える。個別面談やグループ面談等の相談活動だけでなく、通常の教育活動を困難課題対応的教育相談の視点を意識しながら実践することも重要である。

D　「個別の支援計画」は、「ケース会議」の対象となる援助ニーズの高い児童生徒について、アセスメントに基づくプランニングを行い、具体的な支援策を明示するために作成されるものである。

E　「スクリーニング会議」は、教育相談コーディネーターをはじめ、生徒指導主事、特別支援教育コーディネーター、養護教諭、SC、SSWなどが集まり、リスクの高い児童生徒を見いだし、必要な支援体制を整備するために開催される会議である。

	A	B	C	D	E
1	○	×	×	×	○
2	×	○	×	○	○
3	○	×	○	○	×
4	×	×	○	○	×
5	○	○	×	×	○

（５）性に関する指導について述べた各文のうち、正しいものを○、誤っているものを×とした場合、正しい組合せはどれか。**１**～**５**から一つ選べ。解答番号は［ 6 ］

A　文部科学省冊子「生徒指導提要（改訂版）」（令和４年12月）において、DVとは、配偶者など親密な間柄の相手から振るわれる暴力のことであり、暴力には、身体的暴力、精神的暴力、性的暴力、経済的暴力など、様々な種類があると示されている。

B　文部科学省冊子「生徒指導提要（改訂版）」（令和４年12月）において、児童生徒から、性的被害の相談を受けた場合は、児童生徒が安心して話せる場所に移動し、児童生徒の話を遮らず、丁寧に聴き取ることが求められる。その際、児童生徒の使った表現や言葉をそのまま記録せず、要約して記録すると示されている。

C　文部科学省初等中等教育局　健康教育・食育課「学校における性に関する指導及び関連する取組の状況について」（令和４年３月10日）には、発達段階に応じた「生命（いのち）を大切にする」「加害者・被害者・傍観者にならない」ための教材等が示されている。

D　刑法及び刑事訴訟法の一部を改正する法律（令和５年７月13日施行）において、性犯罪の規定の変更により、強制性交等罪は「不同意性交等罪」になる。「暴行」・「脅迫」などが原因となって、同意しない意思を形成、表明又は全うすることが困難な状態で、性交等をした場合「不同意性交等罪」、わいせつな行為をした場合「不同意わいせつ罪」として処罰されると示されている。

E　刑法及び刑事訴訟法の一部を改正する法律（令和５年７月13日施行）において、性交同意年齢が「18歳未満」に引き上げられ、18歳未満の子どもに対して、性交等やわいせつな行為をすると、処罰の対象となると示されている。

	A	B	C	D	E
1	○	○	○	×	×
2	○	○	×	○	×
3	×	×	×	○	○
4	○	×	○	○	×
5	×	○	○	×	○

（６）大阪府教育委員会冊子「一人ひとりの生と性～『性に関する指導』について～」（平成31年２月）に示されている内容について、正しいものを○、誤っているものを×とした場合、正しい組合せはどれか。１～５から一つ選べ。解答番号は［ 7 ］

A　「性に関する指導」を実施するにあたっては、児童生徒等の発達段階を踏まえ、実態に応じた指導が必要であることから、全教職員の共通理解のもと校内体制を整えるとともに、学校全体の指導計画に基づく組織的、系統的な指導を行うこと、また教育委員会の承認を得て集団指導と個別指導を効果的に組み合わせ、指導の充実を図ることが重要である。

B　保護者や、教職員が持つ性に対する意識や、「性に関する指導」への理解や認識もまた、多様であるということを念頭に、教職員の共通理解を図るだけでなく、保護者に対しても、理解と協力を得るために、たとえば事前に学年だよりなどで情報提供を行ったり、保護者参観や学校公開日などで授業を公開するなど、性に関する指導が適切に実施されるために配慮することが大切である。

C　「性に関する指導」を推進する際は、身体的・精神的発達や、性的成熟の個人差が大きいこと、性に関する情報の質や量にも差異があること、また、性の多様性などに対応するため、全ての場面において個別指導が望ましいという点に留意する。

D　教育の機能は人が集団生活を営む場のすべて、例えば家庭、学校、地域、社会、職場などのそれぞれに存在し、そのいずれにも「性に関する指導」は必要である。

E　「性に関する指導」は、各教科や特別活動等によって編成される各学校の教育課程に位置付けられた教育活動をとおして実施される場合と、学校生活全体を通じて集団及び個別に行われる生徒指導としての指導や支援が統合されて成り立っている。

	A	B	C	D	E
1	○	×	×	○	○
2	○	×	○	×	×
3	×	○	×	○	○
4	×	○	×	○	×
5	○	×	○	×	○

2　保健調査、健康観察、健康相談及び感染症について、次の（１）～（３）の問いに答えよ。

（１）公益財団法人日本学校保健会冊子「児童生徒等の健康診断マニュアル 平成27年度改訂」（平成27年８月）に示されている保健調査・日常の健康観察について、正しいものを○、誤っているものを×とした場合、正しい組合せはどれか。**１**～**５**から一つ選べ。解答番号は［　8　］

A　学校保健安全法施行規則の一部改正が公布され、保健調査の実施時期を、小学校入学時及び必要と認めるときから、小学校、中学校、高等学校、高等専門学校においては入学時（中等教育学校及び特別支援学校の小学部、中学部、高等部を含む。）、幼稚園、大学においては必要と認めるときに変更となった（平成28年４月１日施行）。

B　学校における健康観察は、教育活動全体を通じて全教職員により行われるものである。

C　脊柱側わん症の家庭でできる姿勢の検査は、立位と座位で行う。

D　近年、健康上の問題は、生活習慣に起因するものが多くなっているため健康診断だけで把握することが難しくなっている。そのため、学校だけでなく家庭における日常の健康観察が重要となっている。

E　健康観察の参考資料（例）としては、学級健康観察簿、出席簿、保健室利用簿、月例体重測定等の身体計測記録簿、学校生活管理指導表があり、これらをまとめて個人表（又は一覧表）を作っておくと有効に活用できる。

	A	B	C	D	E
1	○	×	×	×	○
2	×	×	○	×	○
3	×	○	×	○	○
4	×	○	○	×	×
5	○	×	×	○	×

（２）次は、公益財団法人日本学校保健会冊子「教職員のための子供の健康相談及び保健指導の手引ー令和３年度改訂ー」（令和４年３月）の一部抜粋である。次のア、イの問いに答えよ。

ア　健康相談の基本的な理解について述べた各文において、空欄Ａ～Ｅに当てはまる語句の正しい組合せはどれか。１～５から一つ選べ。解答番号は［ 9 ］

○　学校保健安全法第［ A ］条には、「学校においては、児童生徒等の心身の健康に関し、健康相談を行うものとする」と示されている。

○　学校における健康相談の目的は、児童生徒の心身の健康に関する課題について、児童生徒や保護者等に対して、［ B ］が連携し、相談等を通して課題の解決を図り、学校生活によりよく適応していけるように支援していくことである。

○　健康相談は、児童生徒の発達に即して一緒に心身の健康課題を解決していく過程で、［ C ］を深め自分自身で解決しようとする人間的な成長につながることから、健康の保持増進だけでなく教育的な意義が大きく、学校教育において重要な役割を担っている。

○　［ D ］に健康相談を位置付け、計画的に実施する。また、状況に応じて計画的に行われるものと随時に行われるものとがある。

○　健康相談を実施するに当たり、最も留意しなければならない点は、［ E ］で解決できるものと医療的な対応が必要なものとがあることである。課題の本質を見極める必要があり、課題の把握に当たっては、健康観察をはじめ情報の収集に当たり、養護教諭や学校医等と連携して的確な課題把握に努めることが大切である。

	A	B	C	D	E
1	9	教職員	知見	学校保健計画	カウンセリング
2	8	関係者	自己理解	学校保健計画	カウンセリング
3	8	関係者	知見	学校保健計画	メンタリング
4	9	教職員	自己理解	学校教育計画	メンタリング
5	8	教職員	知見	学校教育計画	カウンセリング

イ　健康相談の学校内外の支援体制づくりについて述べた各文のうち、正しいものを○、誤っているものを×とした場合、正しい組合せはどれか。**1**～**5**から一つ選べ。解答番号は［10］

A　学級担任等や養護教諭が一人で問題を抱え込むことなく、どのようにして対応していくべきかについて、学校内で情報を共有し、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等の専門スタッフとも連携し、早い段階から組織的に支援していくことが大切である。

B　校内委員会（組織）会議は、事案が起きればその都度開催し、定例化する必要はない。

C　校内組織を設置し機能させていくには、管理職の健康相談に対する理解とリーダーシップが重要である。校長が会議に出席することにより、決定されたことが速やかに実行に移しやすくなる、全校の児童生徒の様子を詳細に把握できるなど、有効性が高いことから、管理職の出席が望まれる。

D　各学校においては、地域資源を活用するとともに、相談しやすい医療機関を確保することが大切である。また、地域の小・中・高等学校間の情報交換等ができる体制整備や医療機関や福祉関係機関等を含めた地域レベルの相談体制を確立するために、管理職が中心となって組織体制づくりをすることが求められる。

E　学校は、健康相談を必要とする児童生徒の課題解決に当たって、各学校のはっきりとした考え方をもって専門機関と連携していく必要がある。そのため、お互いの立場を理解し合い意見交換をしながら支援する姿勢が必要となる。

	A	B	C	D	E
1	○	×	○	×	○
2	×	○	○	×	×
3	○	×	×	○	○
4	×	○	○	○	×
5	○	○	×	○	×

（３）公益財団法人日本学校保健会冊子「学校において予防すべき感染症の解説　令和５年度改訂」（令和６年３月）に示されている結核及び麻しんについて、次のア～エの問いに答えよ。

ア　結核について、空欄Ａ～Ｄに当てはまる語句の正しい組合せはどれか。**１**～**５**から一つ選べ。
解答番号は［ １１ ］

結核は、全身の感染症であるが、肺に病変を起こすことが多い感染症である。小児、特に乳幼児では、家庭内感染が多い。潜伏期間は［ Ａ ］以内、特に６か月以内に多いが、感染後、数十年後に症状が出現することもある。感染経路・感染期間は、主として感染性の患者からの［ Ｂ ］。喀痰の塗抹検査で陽性の間は感染力が強い。

結核の感染を受けたが発病しておらず、無症状であるものの、活動性結核への進展を防ぐための治療が必要な場合を潜在性結核感染症という。潜在性結核感染症の治療は、出席停止に［ Ｃ ］。

予防のためのワクチンは、BCGワクチンであり、［ Ｄ ］に定期接種する。

	Ａ	Ｂ	Ｃ	Ｄ
１	１年	空気感染（飛沫核感染）	該当する	乳児期
２	２年	空気感染（飛沫核感染）	該当する	幼児期
３	１年	接触感染	該当する	乳児期
４	１年	接触感染	該当しない	幼児期
５	２年	空気感染（飛沫核感染）	該当しない	乳児期

イ　学校における結核対策について述べた各文のうち、誤っているものはどれか。１～５から一つ選べ。解答番号は［ 12 ］

１　感染性のある結核患者と接触した者に対しては接触者健診が行われる。学校は、保健所で実施する健康診断等が円滑に進められるよう協力することが重要である。

２　児童生徒等の結核健康診断における事前の確認事項は、①本人の結核罹患歴　②本人の潜在性結核治療歴（予防投薬歴）　③結核高まん延国での居住歴　④自覚症状（２週間以上続く咳・痰）　⑤BCG接種歴の５つである。

３　結核が発生した場合には、診断した医師から直ちに保健所に届出が出され、保健所が感染症法に基づいて対策を行うこととなる。病状（感染性）に応じた対応を行うことになるので、学校は保健所と情報共有することが重要である。

４　学校で結核が発生した場合には、感染症法第17条、学校保健安全法第13条第２項に基づき、臨時の健康診断が検討される。

５　結核治療においては、きちんと服薬を続けることが肝要である。服薬を途中でやめると、薬の効かない菌（耐性菌）が出来てしまうので、保健所では結核に罹患した者の服薬支援を行っている。この服薬支援のための取組をDOTS（Directly Observed Treatment,Short-course）といい、平成26（2014）年の感染症法改正を踏まえ、平成27（2015）年から保健所は学校等にDOTSを依頼できることとなった。

ウ　麻しんについて、空欄Ａ～Ｅに当てはまる語句の正しい組合せはどれか。１～５から一つ選べ。
解答番号は［13］

麻しんの病原体は、麻しんウイルスであり、空気感染、飛沫感染、接触感染により感染する。免疫がなければ、乳幼児に限らず罹患の危険性がある。WHOは世界からの麻しん排除をめざしており、日本は麻しん排除が［A］。

麻しんの予防法は、原則、麻しん風しん混合（MR）生ワクチンを用いて、第１期は［B］時に、第２期は［C］入学前１年間に定期接種する。

日本では、平成19（2007）年、平成20（2008）年に予防接種未接種、１回接種あるいは接種歴不明の［D］を中心とした大規模な全国流行が発生した。令和２（2020）年から令和４（2022）年は、新型コロナウイルス感染症の流行下で海外との往来が大きく減少し、麻しん患者報告数は各年［E］で推移した。

	A	B	C	D	E
1	認定されていない	２歳	中学校	10～20代	30～50人
2	認定されていない	１歳	小学校	60代以上	10人以下
3	認定されている	２歳	小学校	10～20代	30～50人
4	認定されている	１歳	小学校	10～20代	10人以下
5	認定されている	2歳	中学校	60代以上	30～50人

エ　麻しんについて述べた各文のうち、正しいものを○、誤っているものを×とした場合、正しい組合せはどれか。１～５から一つ選べ。解答番号は［14］

A　感染期間は、発熱出現当日から解熱後３日を経過するまでである。

B　典型例では、臨床的に、カタル期、発しん期、回復期に分けられる。カタル期には眼が充血し、涙や眼脂（目やに）が多くなる、咳、鼻水等の症状と発熱がみられ、口内の頬粘膜にコプリック斑という特徴的な赤い斑点（粘膜疹）が見られる。

C　麻しんの症状である発しんは、耳の後ろから顔面にかけて出始め、身体全体に広がる。

D　麻しんの症状である発熱は、発しん出現後３～４日持続し、通常７～９日の経過で回復するが、重症な経過をとることもあり、急性脳炎は発症1,000人に１～２人の頻度で生じる。

	A	B	C	D
1	○	×	○	×
2	○	○	×	×
3	○	○	○	×
4	×	○	×	○
5	×	×	○	○

3　学校環境衛生、保健組織活動、医薬品及び薬物乱用防止について、次の（１）～（３）の問いに答えよ。

（１）文部科学省冊子「学校環境衛生管理マニュアル『学校環境衛生基準』の理論と実践［平成 30 年度改訂版］」（平成30年５月）に示されている学校環境衛生について、次のア～ウの問いに答えよ。

ア　学校環境衛生活動等について述べた各文のうち、正しいものを○、誤っているものを×とした場合、正しい組合せはどれか。１～５から一つ選べ。解答番号は［15］

A　学校保健安全法第五条において、学校の設置者は、児童生徒等及び職員の心身の健康の保持増進を図るため、児童生徒等及び職員の健康診断、環境衛生検査、児童生徒等に対する指導その他保健に関する事項について計画を策定し、これを実施しなければならないと示されている。

B　学校保健安全法第六条において、文部科学大臣は、学校における換気、採光、照明、保温、清潔保持その他環境衛生に係る事項（学校給食法（昭和二十九年法律第百六十号）第九条第一項（夜間課程を置く高等学校における学校給食に関する法律（昭和三十一年法律第百五十七号）第七条及び特別支援学校の幼稚部及び高等部における学校給食に関する法律（昭和三十二年法律第百十八号）第六条において準用する場合を含む。）に規定する事項を除く。）について、児童生徒等及び職員の健康を保護する上で維持されることが望ましい基準（以下この条において「学校環境衛生基準」という。）を定めるものと示されている。

C　日常点検は、点検すべき事項について、毎授業日の授業開始時、授業中、又は授業終了時等において、主として官能法によりその環境を点検し、その点検結果を定期検査や臨時検査に活用したり、必要に応じて事後措置を講じたりするためのものである。学校環境衛生活動は、身の回りの環境がどのように維持されているかを知る保健教育の一環として、児童生徒等が学校環境衛生活動を行うことも考えられる。

D　定期及び臨時に行う検査の結果に関する記録は、検査の日から５年間保存するものとする。また、毎授業日に行う点検の結果は記録するよう努めるとともに、その記録も点検日から５年間保存するよう努めるものとする。

E　学校環境衛生活動における「臨時検査」は、感染症又は食中毒の発生のおそれがあり、また、発生したとき、風水害等により環境が不潔になり又は汚染され、感染症の発生のおそれがあるとき、新築、改築、改修等及び机、いす、コンピュータ等新たな学校用備品の搬入等により揮発性有機化合物の発生のおそれがあるときには、必要に応じて行うものとされている。

	A	B	C	D	E
1	○	×	×	×	○
2	×	○	○	×	○
3	○	×	×	○	×
4	×	○	×	×	○
5	×	×	○	○	×

イ　学校環境衛生基準について述べた各文のうち、正しいものを○、誤っているものを×とした場合、正しい組合せはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は 16

A　照度を測定する際、測定者は、測定時の着衣に注意する。白っぽいものは光を反射し、実際より照度が高くなることがあるため、服装は、光を吸収する黒っぽいものを着用する。測定時の位置、姿勢についても照度に影響を及ぼさないように注意する必要がある。

B　授業中は、黒板を見たり、机の上の教科書やノートを見たりすることを繰り返しており、教室及び黒板の明暗の差があまり大きいと、そのたびに明るさに目を順応させなければならないため、目の疲労の原因となる。このため、教室及び黒板のそれぞれの最大照度と最小照度の比は20：1を超えないこととしている。なお、見やすさの観点から、10：1を超えないことが望ましい。

C　水泳プールに係る学校環境衛生基準について、大腸菌が検出された場合は、プールの使用を中止し、塩素消毒を強化すること。なお、塩素消毒の強化は、循環ろ過装置の運転を止め、遊離残留塩素の濃度を2～3mg/L程度に上げて行う。

D　水泳プールに係る学校環境衛生基準におけるpH値（水素イオン濃度）について、水が酸性に傾くと消毒効果は強くなるが、コンクリートの劣化や配管の腐食、浄化能力の低下をもたらし、逆にアルカリ性に傾くと消毒効果が低下する。

E　飲料水の水質検査は、給水系統の代表的な近傍の給水栓から採水して行う。給水系統の近傍とは、通常、高置水槽がある場合は最も上の階になり、高置水槽がない場合は最下階となる。

	A	B	C	D	E
1	○	○	×	○	×
2	×	○	×	×	○
3	×	×	○	○	×
4	○	×	○	×	○
5	○	×	×	○	○

ウ　換気及び保温等、ダニ又はダニアレルゲンの学校環境衛生基準について述べた各文のうち、正しいものを○、誤っているものを×とした場合、正しい組合せはどれか。**1**～**5**から一つ選べ。解答番号は［17］

A　換気の基準は、二酸化炭素の人体に対する直接的な健康影響から定めたものではない。教室内の空気は、外気との入れ換えがなければ、在室する児童生徒等の呼吸等によって、教室の二酸化炭素の量が増加するとともに、同時に他の汚染物質も増加することが考えられる。このため、教室等における換気の基準として、二酸化炭素濃度は2,500ppm以下であることが望ましいとしている。

B　換気検査は、毎学年3回定期に行うものとする。

C　ダニ又はダニアレルゲン検査は、ダニの発生しやすい場所において1㎡を電気掃除機で1分間吸引し、ダニを捕集する。捕集したダニは、顕微鏡で計数するか、アレルゲンを抽出し、酵素免疫測定法によりアレルゲン量を測定する。ダニ又はダニアレルゲン検査の基準値は100匹/㎡以下又はこれと同等のアレルゲン量以下であること。

D　ダニ又はダニアレルゲン検査は、毎学年1回教室等内の温度及び湿度が高い時期に定期に行う。検査は、保健室の寝具、カーペット敷の教室等において実施する。

E　ダニアレルゲン対策として、保健室等の寝具や幼稚園等において午睡用に使用する寝具は、定期的に乾燥を行う。また、寝具には、布団カバーやシーツを掛け、使用頻度等を考慮し適切に交換すること。

	A	B	C	D	E
1	×	×	○	○	○
2	○	○	×	×	○
3	○	×	×	○	×
4	×	○	○	×	×
5	×	○	×	○	○

（2）学校保健委員会について述べた各文のうち、誤っているものはどれか。1～5から一つ選べ。
解答番号は 18

1　公益財団法人日本学校保健会冊子『平成27年度「学校保健委員会に関する調査」報告書』（平成28年３月）において、学校保健委員会の設置は全体で9割を超え、開催回数も複数回開催している学校が全体の３割を超えている一方で、設置しているが開催しなかった学校が全体の約1割程度であった。

2　公益財団法人日本学校保健会冊子「平成27年度『学校保健委員会に関する調査』報告書」（平成28年３月）において、地域学校保健委員会は、小・中学校での設置率が1割強と少なく、地域学校保健委員会の意義や重要性についての認識の低さが明らかとなったと示されている。

3　平成20年1月の中央教育審議会答申において、学校保健委員会は、学校における健康に関する課題を研究協議し、健康づくりを推進するための組織であり、校長、養護教諭・栄養教諭・学校栄養職員などの教職員、学校医、学校歯科医、学校薬剤師、保護者代表、児童生徒、地域の保健関係機関の代表などを主な委員とし、学校長が中心となって、運営することとされていると示されている。

4　公益財団法人日本学校保健会冊子「学校保健の課題とその対応ー養護教諭の職務等に関する調査結果からー　令和２年度改訂」（令和３年３月）において、学校保健委員会が、学校保健活動の中心として機能するだけでなく、学校、家庭、地域の関係機関等の連携による効果的な保健活動につながるよう、その活性化を図っていくことが大切であると示されている。

5　公益財団法人日本学校保健会冊子「学校保健の課題とその対応ー養護教諭の職務等に関する調査結果からー　令和２年度改訂」（令和３年３月）において、学校保健委員会の企画に当たっては、議題選びが重要であり、できるだけ具体的な議題に絞り、現状の課題をとらえ、その解決のための協議を行うようにすることが示されている。

（3）医薬品及び薬物乱用防止について、次のア～ウの問いに答えよ。

ア　次は、中学校学習指導要領（平成29年3月告示）、高等学校学習指導要領（平成30年３月告示）に示されている医薬品に関する内容についてまとめたものである。空欄Ａ～Ｄに当てはまる語句の正しい組合せはどれか。**1**～**5**から一つ選べ。解答番号は［19］

中学校学習指導要領第7節保健体育の保健分野において、医薬品に関する内容は、「［A］について理解を深めること」の中で、取り扱うこととなっており、取り扱う学年は、第［B］学年である。

高等学校学習指導要領第６節保健体育第２保健において、医薬品については、「［C］について理解を深めること」に示されている。医薬品は、有効性や［D］が審査されており、販売には制限があること。疾病からの回復や悪化の防止には、医薬品を正しく使用することが有効であることを指導する。

	A	B	C	D
1	健康な生活と疾病の予防	3	生涯を通じる健康	安全性
2	健康と環境	2	生涯を通じる健康	利便性
3	健康と環境	3	健康を支える環境づくり	利便性
4	健康と環境	2	生涯を通じる健康	安全性
5	健康な生活と疾病の予防	3	健康を支える環境づくり	安全性

イ　公益財団法人日本学校保健会冊子「学校における薬品管理マニュアル　令和４年度改訂」（令和５年３月）に示されている内容として誤っているものはどれか。１～５から一つ選べ。
解答番号は 20

１　「医薬品」には「医療用医薬品」､「要指導医薬品」及び「一般用医薬品」がある。「要指導医薬品」及び「一般用医薬品」は、医薬品のうち、人体に対する作用が著しくないものであって、薬剤師等から提供された情報に基づいて自らの判断で購入し、自らの責任で使用する医薬品である。

２　「医薬部外品」とは、人体に対する作用が緩和なものであって、吐き気等の不快感、あせも、ただれ等の防止を目的として使用されるものや、口臭、体臭、脱毛の防止、育毛、除毛等の美容目的に使用されるものなどである。

３　一般用医薬品を学校に置くことについて、規制している法令はなく、学校は救急処置に用いる薬などを含め、様々な一般用医薬品を必ず常備する必要がある。一般用医薬品の管理が適切に行われるように学校薬剤師に必要に応じて相談することも大切である。

４　一般用医薬品の保管や使用状況などについては、養護教諭が一般用医薬品管理簿などに記録する。年度当初に、養護教諭は保健主事と協力し、教職員に対して、学校における一般用医薬品の取扱いの方針を説明し、共通理解を図ることが大切である。

５　学校において、児童生徒がてんかん発作を起こした場合の坐薬及び口腔用液の使用については、生命が危険な状態である場合に、救命の現場に居合わせた教職員が自ら使用できない本人に代わって使用することは医師法違反とはならないと考えられる。

ウ　薬物乱用防止について述べた各文のうち、正しいものを○、誤っているものを×とした場合、正しい組合せはどれか。**1**～**5**から一つ選べ。解答番号は［ 21 ］

A　公益財団法人日本学校保健会冊子「薬物乱用防止教室マニュアル－令和５年度改訂－」（令和６年３月）において、乱用のおそれのある市販薬の成分としては、エフェドリン、コデイン、ジヒドロコデイン、ブロムワレリル尿素、プソイドエフェドリン、メチルエフェドリンが示されており、生徒に対して有効成分や商品名を積極的に教える必要がある。

B　大麻事犯の検挙人数の増加が全国的に問題となっており、大阪府における令和４年度の検挙者のうち、20歳代までの若者の検挙者が約８割をしめている。

C　身体依存とは、薬物の効果がなくなってくると、その薬物をまた使いたいという渇望が湧いてきて、それをコントロールできずに薬物を使ってしまう状態であり、薬物探索行動が認められる。

D　国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センターによる「薬物使用と生活に関する全国高校生調査2021」において、「この1年間に、市販の咳止め薬や風邪薬を乱用目的（治療目的ではなく）で使用した経験がある」と回答した割合は1.57%であり、約60人に1人が乱用目的で使用した経験があることが報告されている。

E　国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センターによる「薬物使用と生活に関する全国高校生調査2021」において、市販薬の乱用経験のある高校生は、乱用経験のない高校生に比べて、親しく遊べる友人や相談ができる友人がおらず、学校生活が楽しくない、親とのコミュニケーションが十分に図れていないなど、社会的に孤立状態にあることを示唆する結果が示されている。

	A	B	C	D	E
1	○	×	○	×	×
2	×	○	○	×	×
3	×	○	×	○	×
4	×	○	×	○	○
5	○	×	×	×	○

4 眼及び口腔内の構造や疾病及び異常について、次の（1）～（6）の問いに答えよ。

（1）図1は眼球の断面図を示したものである。空欄A～Dに当てはまる名称の正しい組合せはどれか。**1**～**5**から一つ選べ。解答番号は 22

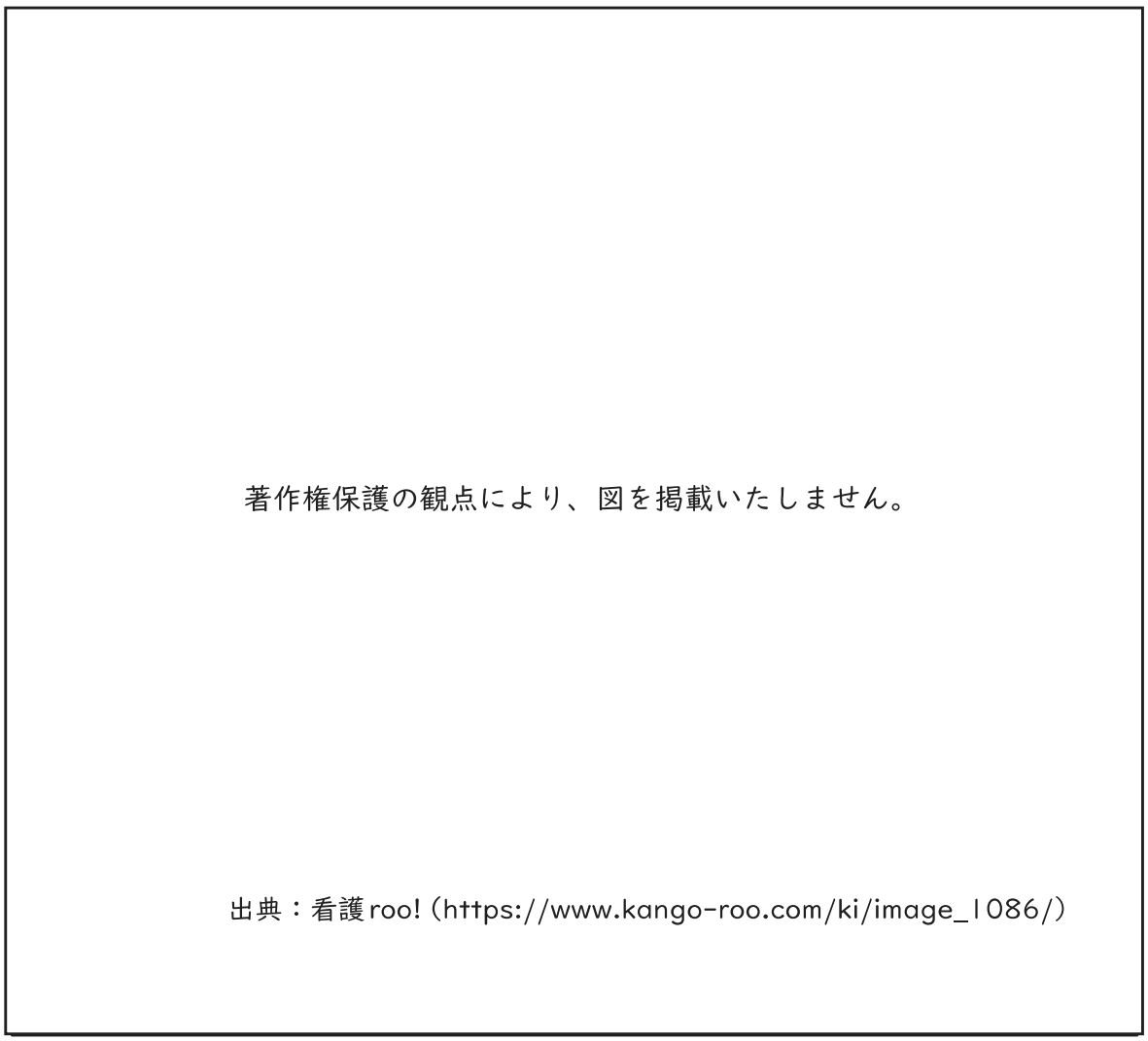


図1　眼球の断面図

	A	B	C	D
1	虹彩	脈絡膜	網膜	中心窩
2	シュレム管	強膜	脈絡膜	視神経乳頭
3	虹彩	網膜	強膜	視神経乳頭
4	虹彩	網膜	脈絡膜	中心窩
5	シュレム管	網膜	強膜	視神経乳頭

（2）公益財団法人日本学校保健会冊子「児童生徒等の健康診断マニュアル　平成27年度改訂」（平成27年度８月）に示されている眼に関する内容について、次のア、イの問いに答えよ。

ア　眼科関連の疾病及び異常について、正しいものを○、誤っているものを×とした場合、正しい組合せはどれか。**1**～**5**から一つ選べ。解答番号は 23

A　斜位は、常に自分が見ようとする目標に両眼が同時に向かず、片眼は目標に他の眼は目標以外の方向に向いているものをいう。

B　乱視とは、左右の眼の屈折度が異なるもので、その差が大きいと左右の網膜に映る大きさが異なる（不等像）ため眼精疲労の原因になったり、また、幼児期では弱視や両眼視機能の発達が阻害されることがある。

C　不同視とは、無調節状態で、平行光線が網膜の1点に像を結ばない状態である。主に角膜が球面でなく、歪んでいるためである。

D　無調節状態で、網膜より後ろに焦点を結ぶ眼を遠視という。眼軸（眼球の奥行き）が短いか、眼の光学系（角膜や水晶体）の屈折が弱いことによる。

E　調節緊張とは、眼の中のピントを合わせる毛様体という筋肉が、近くを長くみていると緊張し、屈折度が近視側に傾いた状態のことである。

	A	B	C	D	E
1	×	×	×	○	○
2	○	○	○	×	×
3	○	×	×	×	○
4	×	○	○	○	×
5	○	×	○	×	○

イ　学校における健康診断で対象となる主な眼科所見名の説明について、空欄Ａ～Ｅに当てはまる語句の正しい組合せはどれか。**1**～**5**から一つ選べ。解答番号は 24

所見名	内容と説明
A	・細菌性とウイルス性に大別される。 ・ウイルス性のものは感染性があり、ほとんどが接触感染で出席停止が必要である。 ・充血、流涙、痛み、目やになどの症状も強く、発熱やのどの痛みを伴うこともある。
B	・目の周囲のただれ、かぶれ、かさつき、切れなどで、かゆみ、痛みを訴える。
内反症	・さかまつげのことである。 ・異物感を訴えて、よく目をこする。 ・ C が傷つくことがあり、症状が強い場合は、手術が必要な場合がある。
D	・まぶたの急性の細菌感染である。 ・ひどくなると、眼の周囲に感染が広がっていくことがある。
E	・まぶたの慢性肉芽腫性炎症である。 ・ D と似ているが、炎症が治まっても、しこりが残ることが少なくない。

	A	B	C	D	E
1	眼瞼炎	結膜炎	結膜	麦粒腫	霰粒腫
2	結膜炎	眼瞼炎	結膜	麦粒腫	霰粒腫
3	結膜炎	眼瞼炎	角膜	霰粒腫	麦粒腫
4	眼瞼炎	結膜炎	結膜	霰粒腫	麦粒腫
5	結膜炎	眼瞼炎	角膜	麦粒腫	霰粒腫

（3）独立行政法人日本スポーツ振興センター冊子「スポーツ事故防止ハンドブック（解説編）」（令和２年12月）に示されている眼の外傷への対応として誤っているものはどれか。
解答番号は［ 25 ］

1　バスケットボールのような大きいものが当たると、眼球後部が傷害され、シャトルのような小さいものが当たると、眼球前部が傷害される。

2　傷害が眼球前部の場合は痛みが弱く出るが、眼球後部の場合は痛みが強くなる。

3　眼球の後部（硝子体・網膜）の傷害の症状は、時間が経ってから現れることがある。

4　現場の応急処置のポイントとして、「まぶたを無理に開かない、眼を強く押さえない、眼に異物が入らないように覆う、眼と眼の周辺を清潔に保つ、眼に消石灰が入った時はよく洗う」と示されている。

5　眼窩壁骨折や眼球破裂など、眼窩や眼球の傷害が重症のときは、吐き気や嘔吐等の全身症状が起こる。

（4）図2は口腔内の構造を示したものである。空欄A～Eに当てはまる名称の正しい組合せはどれか。

1～**5**から一つ選べ。解答番号は 26

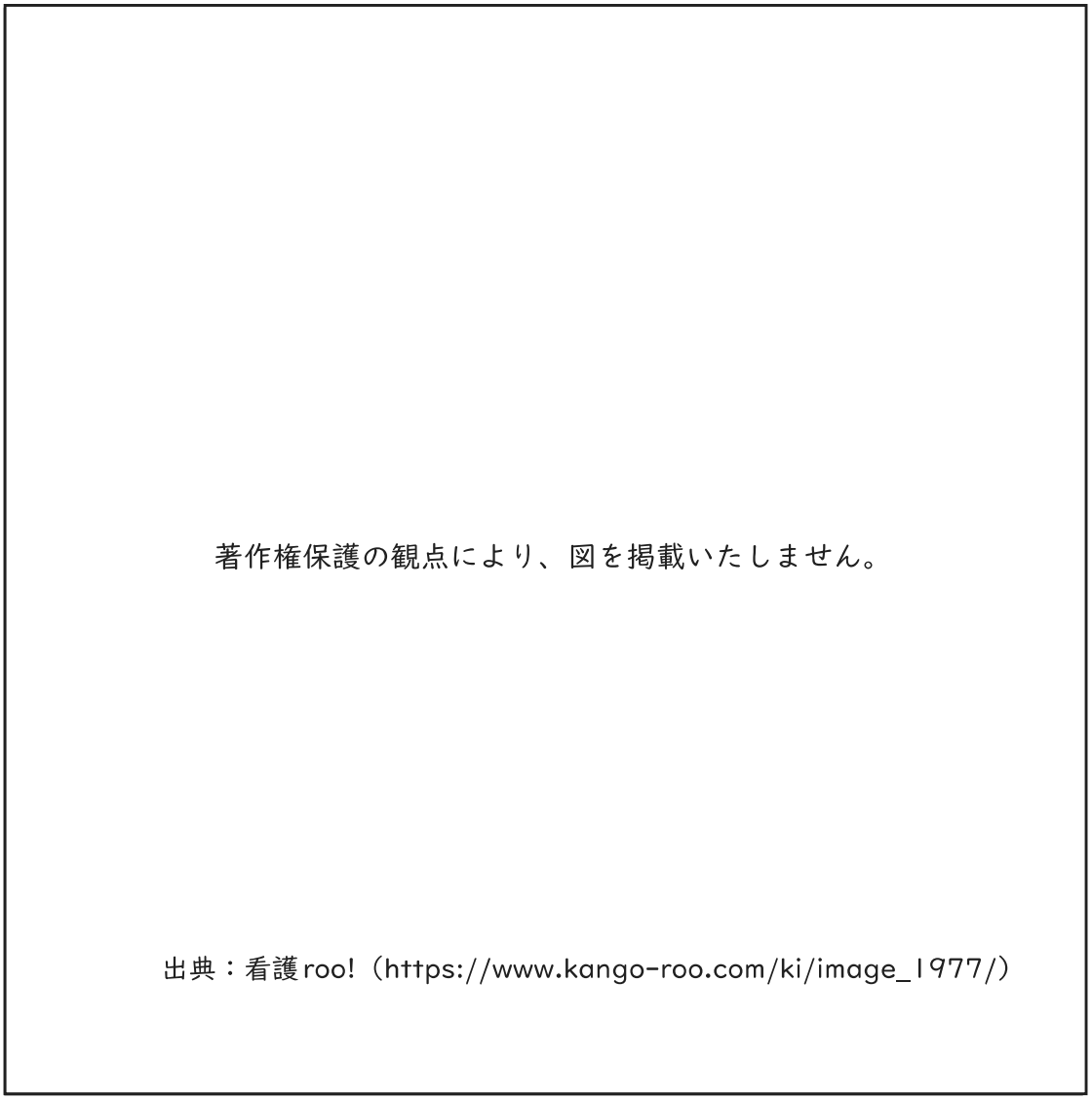


図2　口腔内の構造

	A	B	C	D	E
1	側切歯	犬歯	第一小臼歯	口蓋	口蓋扁桃
2	側切歯	犬歯	第一大臼歯	口狭	口蓋扁桃
3	犬歯	側切歯	第一小臼歯	口蓋	口蓋垂
4	側切歯	犬歯	第一小臼歯	口蓋	口蓋垂
5	犬歯	側切歯	第一大臼歯	口狭	口蓋扁桃

（5）公益財団法人日本学校保健会冊子「『生きる力』を育む 学校での歯・口の健康づくり　令和元年度改訂」（令和２年２月）に示されている内容について、正しいものを○、誤っているものを×とした場合、正しい組合せはどれか。**1**～**5**から一つ選べ。解答番号は 27

A　歯周病とは、歯肉・エナメル質・骨及び歯根膜に起こる病気の総称である。

B　歯周病は、ストレスなどの要因も関わっていることがある。ストレスにより副腎皮質ホルモンが分泌され、免疫機能が低下することによって、歯周組織に影響が生じるものと考えられている。

C　子どもが生活する社会環境や生活様式の変化に従い、それらと関連があると考えられる顎関節を含む咀嚼時の問題を訴える子どもが増加している。

D　顎関節の症状がみられる子どもは、開閉口時の痛みにより開口量の制限や咀嚼能力の低下を招き、摂取食品の制限や不足などが誘因となって低栄養を招いたり、学習意欲が減退したりすることもあるので注意する。

E　健康診断において、定期的な観察が必要、または、専門医（歯科医）の診断が必要とされた子どもに対しては、少なくとも一年に一度、歯科医師の診察を受けるように勧める。

	A	B	C	D	E
1	○	×	○	×	○
2	○	○	×	×	○
3	×	×	○	○	×
4	○	×	×	○	○
5	×	○	○	○	×

（6）独立行政法人日本スポーツ振興センター冊子「スポーツ事故防止ハンドブック（解説編）」（令和２年12月）に示されている歯・口の外傷への対応について、正しいものを○、誤っているものを×とした場合、正しい組合せはどれか。１～５から一つ選べ。解答番号は 28

A　口の中の傷は、唾液の力が働き、感染せずに出血が止まることが多く、慌てる必要はない。

B　脱臼した歯や、破折した歯に土や泥がついたときは、水道水でよく洗う。

C　脱臼した歯や、破折した歯は、乾燥すると１時間で再植できなくなることが多いので、歯の保存液か牛乳にいれて、急いで歯科医院へいく。

D　歯が中にめり込んだ陥入は、重症に見えるが、後からまた出てくることが多い。慌てず歯科医院を受診する。また、痛みが強いので、止血をしながら冷やす処置が必要である。

E　歯並びがずれた、痛みが強い、口が閉まらないといった症状がある場合は、下顎骨骨折が考えられるため救急搬送が必要である。

	A	B	C	D	E
1	×	○	×	○	×
2	×	○	○	×	○
3	○	×	×	○	○
4	×	×	○	○	×
5	○	×	○	×	×

5　保健教育および保健指導に関して、以下の問いに答えよ。

（１）次は、小学校学習指導要領（平成29年３月告示）、中学校学習指導要領（平成29年３月告示）、高等学校学習指導要領（平成30年３月告示）から一部抜粋したものである。ア～ウに入る語句をそれぞれ答えよ。

小学校学習指導要領（平成29年３月告示）

第９節　体育（第２　各学年の目標及び内容　（第３学年及び第４学年））

２　内容　G保健　（１）ア　健康な生活について理解すること。

（イ）　毎日を健康に過ごすには、［　ア　］、［　イ　］、［　ウ　］及び睡眠の調和のとれた生活を続けること、また、体の清潔を保つことなどが必要であること。

中学校学習指導要領（平成29年３月告示）

第７節　保健体育（第２　各学年の目標及び内容　【保健分野】）

２　内容（１）ア　健康な生活と疾病の予防について理解を深めること。

（イ）　健康の保持増進には、年齢、生活環境等に応じた［　ア　］、［　イ　］、［　ウ　］及び睡眠の調和のとれた生活を続ける必要があること。

高等学校学習指導要領（平成30年３月告示）

第６節　保健体育（第２　保健）

２　内容（１）ア　現代社会と健康について理解を深めること。

（ウ）　生活習慣病などの予防と回復

健康の保持増進と生活習慣病などの予防と回復には、［　ア　］、［　イ　］、［　ウ　］及び睡眠の調和のとれた生活の実践や疾病の早期発見、及び社会的な対策が必要であること。

（２）次は、眠りのメカニズムについてまとめたものである。ア～コに入る語句をそれぞれ答えよ。

レム睡眠とは、急速眼球運動（Rapid Eye Movements）を伴う睡眠という意味である。急速眼球運動とは、閉じたまぶたの下で眼球がきょろきょろと動くことを指していて、筋肉が［　ア　］しているが、脳は覚醒に近い状態である。この時には、［　イ　］の整理や固定等が行われているものと想定されている。

ノンレム睡眠とは、レム睡眠ではない眠りという意味で、いわゆる安らかな眠りである。脳波をもとに、４段階に分けることができ、特に３、４段階の熟睡状態を「［　ウ　］」という。

一般的には、これら２種類の眠りが、約［　エ　］分の単位をつくり、幾つかの単位がまとまって一夜の睡眠を構成している。睡眠中の成長ホルモンは［　オ　］時に多く分泌される。夜間には、［　カ　］という睡眠を促すホルモンが脳内の［　キ　］から分泌をされる。朝方になると覚醒作用を持つ［　ク　］ホルモンの分泌が始まり、脳の温度が自然と［　ケ　］なり、目覚めを迎える。

夜間に明るい光、特に［　コ　］を含む青色や白色の光を浴びると、［　カ　］の分泌が抑制され、なかなか眠れなくなったり、朝起きるのがつらくなるといった夜型の生活リズムを引き起こす可能性がある。

（３）「健康づくりのための睡眠ガイド2023」（令和６年２月健康づくりのための睡眠指針の改訂に関する検討会）に示されている内容について、次のア、イの問いに答えよ。

ア　以下のＡ～Ｄの各文のうち、正しいものをすべて選べ。

Ａ　小学生は８～10時間を参考に睡眠時間を確保する。

Ｂ　睡眠時間が不足することによって肥満のリスクが高くなること、抑うつ傾向が強くなること、学業成績が低下すること、幸福感や生活の質（QOL）が低下することが報告されている。

Ｃ　令和元年の国民健康・栄養調査結果において、１日の平均睡眠時間が６時間未満の者の割合は、男女ともに30%以上である。

Ｄ　睡眠時間は季節によっても変動し、夏季に比べて冬季に10～40分程度、睡眠時間が短くなることが示されている。

イ　子どもの夜更かしを習慣化させないための４つの工夫のうち、３つを簡潔に記せ。

（４）公益財団法人日本学校保健会冊子「教職員のための子供の健康相談及び保健指導の手引－令和３年度改訂－」（令和４年３月）に示されている起立性調節障害について、次のア、イの問いに答えよ。

ア　起立性調節障害の身体的症状を３つ書け。

イ　起立性調節障害が考えられる高校１年生の女子生徒に対して、養護教諭が保健指導を行う際の、保健指導の指導方針を３つ挙げよ。

令和7年度大阪府・大阪市・堺市・豊能地区公立学校教員採用選考テスト

第二次選考択一問題の正答について

校種		教科・科目	養護教諭

大問番号	1							2							3							4						
解答番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
正答番号	1	5	2	4	2	4	3	3	2	1	5	2	4	5	2	1	1	3	5	3	4	4	1	5	2	4	5	3

受験番号	

令和７年度大阪府・大阪市・堺市・豊能地区公立学校教員採用選考テスト

養護教諭　解答用紙　（１枚のうち１）

5

得点	

（１）

ア　運動		イ　食事		ウ　休養	／

（２）

ア　弛緩 （緩和でも正答とする）	／	イ　記憶 （情報、知識でも正答とする）	／
ウ　徐波睡眠	／	エ　90	／
オ　ノンレム睡眠 （ノンレムでも正答とする）	／	カ　メラトニン	／
キ　松果体 （間脳でも正答とする）	／	ク　副腎皮質	／
ケ　高く、上昇、高温、熱く　等 現象自体を理解しているもの	／	コ　ブルーライト	／

（３）

ア　B・C　（正解―　A：９～１２時間　D:長く）	／

イ

起床時の日光浴、朝食の摂取、運動習慣の定着、デジタル機器使用の回避	／
上記４点のうちから３点を解答	／
	／

（４）

ア その他：気分不良、頭痛、動悸 等 起立性調節障害の身体的症状として認められるもの

立ちくらみ	／
倦怠感	／
動悸	／

イ　その他：専門機関受診 等 起立性調節障害に対する養護教諭の保健指導として認められるもの

起立性調節障害や脳脊髄液減少症などの可能性を視野に、頭痛の発生機序を理解できるように指導する。	／
日常生活を振り返り、工夫できることを一緒に探し、指導する。	／
遅刻や欠席が増えることへの不安を受け止め、本人の学びで配慮できることを校内で検討し、本人が安心して登校できるよう指導する。	／